

第28回「大学入試のあり方に関する検討会議」提出資料
令和3年6月30日

国立大学協会入試委員会
委員長 岡 正朗

「大学入試のあり方に関する検討会議」提言（案）への意見

これまでの議論の内容を取りまとめ、提言の作成にご尽力いただいた三島座長、並びに両座長代理に感謝申し上げます。提言（案）について、下記のとおり意見を提出させていただきます。

記

「P43 第5章 ウィズコロナ・ポストコロナ時代の大学入学者選抜 5.大学入学者選抜の改善に係る実施・検討体制」での記載として、以下のとおり示されている。

さらに、上記の好事例の認定も適切に活用しつつ、インセンティブの付与を検討すべきである。例えば、国立大学については、第4期中期目標期間における国立大学法人運営費交付金の在り方についての検討状況も踏まえ、優れた取組も促進・評価することができるよう検討するべきである。

これまでの本検討会議の場でも発言させていただいたところであるが、1行目の「インセンティブの付与を」を、「財政的支援等インセンティブの付与も」としていただき、2行目の「例えば～」以降の記載については削除していただきたい。

運営費交付金の枠組みの中でインセンティブを付与することは、国立大学の基盤的経費たる運営費交付金の考え方からすると受け入れ難い。また、先日公表された「第4期中期目標期間における国立大学法人運営費交付金の在り方について 審議まとめ」においてもこのような具体的な方向性は示されていない。

財政的なインセンティブを実施するのであれば、優れた取組に対して、国公私あまねく補助金としてプラスアルファの形で付与されることが望ましく、また、現時点で本検討会議の提言として、財源を限定した記載はすべきではない。

以上